

目標1：環境にやさしく資源を有効に活用する循環型社会を目指すまち

令和7年3月末 達成目標(改訂前)
市民1人1日当たりのごみ排出量 500g
リサイクル率 25.0%
※令和元年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア エコライフスタイルの実践

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) エコ意識しながら生活するライフスタイルの実践	エコライフたきかわ(通称：エコたき)	市 民 事業者	◆新たな市民運動「エコライフたきかわ」に参加し、その取組を実践します。	【令和元年度の新たな取組実績】 ◆「COOL CHOICEでエコたき」をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車、市内公共施設に掲示し、「エコライフたきかわ」への参加を促した 【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施 ◆空知自動車学校と連携し、高齢者が免許更新時に受講を義務付けられている高齢者講習会で、エコドライブの講習会を実施 ◆「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施 ◆滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部!」（以下、「エコ部!」という。）並びに滝川高校科学部と連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施 ◆市内全保育所、空知自動車学園、市立図書館と連携した「エコドライブ」啓発ぬりえ展示の実施（同時にクールビズ、ウォームビズ啓発展示も実施） ◆北海道新聞空知版（発行数63,000部）への啓発記事掲載 ◆「エコたき」啓発を目的とした、市内線バスへの広告掲出 ◆市内タクシー会社3社の協力による、「エコたき」啓発ステッカー掲出 ◆滝川市公用車への「エコたき」啓発ステッカー掲出 ◆北海道と連携した滝川市リサイクルフェアでのエコドライブシュミレーターによるエコドライブの推進 ◆滝川市リサイクルフェアでの「エコたき」チラシの配布並びにポスターの展示 ◆プレス空知と連携した啓発記事の掲載	【評価】 ◆昨年度に引き続き、若年層の環境保全に対する意識を高め、また地球温暖化の現状やその防止方法について正しい知識を身につけるため、國學院大學北海道短期大学部の学生を地球温暖化防止活動普及大使、滝川高校理数科1年生全員を環境学習リーダーとして養成したことを評価する。 ◆短大生、高校生が身に着けた知識を創意工夫しながら若年層に伝え、「環境教育」を通した異世代交流の拡大に努めたことを評価する。 【課題】 ◆平成28年度から環境省の補助金を活用し、メディアへの広告掲載、バスやタクシーへの広告掲出、チラシやポスターの配布、ラジオを活用したPRなど様々な事業展開を行っているが、今後は補助金が終了した際のことを考慮し、教育機関や企業との連携体制を整備していくことが必要。 ◆今後も継続的に「エコたき」の普及促進を行うリーダーの養成体制を構築していくことが必要。

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
				◆FMG ‘Skyによる啓発番組の放送 ◆空知自動車学校と連携し、卒業生を対象としたエコドライブ講習会の実施並びにエコドライブに特化したメールマガジンの配信 ◆滝川市立江陵中学校1年生、滝川市立開西中学校1年生への環境教育事業実施 ◆市内全低学年（1～3年）を対象とした「エコたき日記」の実施 ◆環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用した「COOL CHOICEでエコたき」事業の実施 ◆環境月間時の市立図書館での環境展示並びに「エコたき」、「COOL CHOICE」チラシの配布 ◆滝川商工会議所と連携し、各事業所へポスター・チラシを配布 ◆地元情報誌SORAと連携した啓発記事の掲載 ◆「エコたき」チラシの全世帯配布 ◆子ども達を対象にごみとリサイクルに特化したイベント「エコまつりin美術自然史館」を國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科並びに「エコ部！」が主体となって実施 ◆小学生を対象に「エコたき」をテーマにしたイベント「エコたきまつりin國學院短大」を実施 ◆滝川西高校美術部による「エコたき」普及キャラクターの作製・推進ポスター・チラシの作製と市内イベント等での配布	

イ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) ご み の 減 量 化 （ リ デ ュ ー ス ） ・ 分	情報収集・発信	市 民 事業者	◆ごみの減量化などに関する学習会や講演会などに参加します。	【令和元年度の新たな取組実績】 ◆広報たきかわ令和2年2月号にてごみの特集を掲載し、ごみ減量、リユースのPR資源ごみ回収量 令和元年度 1,452t（うち拠点回収 75t、集団回収 1,374t 巡回回収 603t） 平成30年度 1,493t（うち拠点回収 60t、集団回収 1,433t 巡回回収 658t） 平成29年度 1,627t（うち拠点回収 66t、集団回収 1,627t 巡回回収 683t） 平成28年度 1,724t（うち拠点回収 80t、集団回収 1,724t 巡回回収 675t） 【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市	【評価】 ◆ごみ問題として、いかにごみを少なくするかということは、大きな課題である。市民が最も目にしやすい「広報たきかわ」でごみの特集を掲載し、市民にごみの減量を訴え、リユースのPRを行ったことは、非常に良い取り組みだった。 ◆ごみ減量対策のひとつとして、ごみの分別を推進し、資源として再利用可能なものについて、市民の利便性を考え回収拠点を設置し、1年を通じ回収をしていることは、地道な活動ではあるが大切な取り組みであり、今後も継続を期待する。 ◆カレンダーリサイクルについて、市役所大会議室で開催後、会場を図書館に移動しロングランで実施し、企業等が配布しているカレンダー数が減少してきている状況で、譲渡数が増加していることを評価する。
		市	◆ホームページやパンフレットなどを利用し、ごみの分別方法や減量化の啓発を行います。 ◆ごみの減量化に必要なごみを出さない生活のあり方についてイベントやホームページなどで啓発します。 ◆ごみの減量化などに関する学習会や講演会などの開催に努めます。		

目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
別				立東小学校で環境授業の実施 ◆ごみ分別一覧表（A3サイズ）を広報3月で全世帯に配布 ◆ごみ回収のその後・・・のチラシを作成し、ホームページ上に掲載 ◆ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知 ◆拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施 ◆市内中学校において、ごみの減量や処理方法についての環境教育授業を実施	【課題】 ◆生活スタイルの変化や終活、空家の解体等により、ごみが増加しているが、どのように減らしていくのかについて検討していただきたい。 ◆資源回収は限りある資源の有効活用だけではなく、ごみ減量化にも効果が非常に高いが、回収量が減少傾向にあることから、回収の多くを占める集団資源回収を中心に、今後も継続できる体制をサポートしていただきたい。
	排出抑制の取組	市 民	◆マイバックを利用します。 ◆ものを大切に使うことを基本とし、ごみを出さない生活を心掛けます。 ◆ごみの分別方法を守ります。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆ごみ回収のその後・・・のチラシを作成し、ホームページ上に掲載 ◆ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知 ◆拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施	
		事業者	◆簡易包装に努めます。 ◆産業廃棄物と事業系一般廃棄物などの区分を理解し、ごみの分別を守ります。 ◆ごみ減量化の視点から商品開発に努めます。	◆広報にて定期的にごみ処理の注意点などを掲載 ◆旧粗大センターで資源ごみ回収を実施（土、日、月の13時～16時） ◆市内のリサイクルショップをホームページ上で周知	
		市	◆ごみ減量化の取組の検証・評価を行います。 ◆リサイクル推進員や団体と協力し、ごみの適正処理に向けた活動を行います。 ◆適正なごみ処理のあり方を検討します。	◆通常商品と比較し、安価または同額な場合はリサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入促進を実施 ◆市内4か所の学童クラブに登録している小学校1年生全員を対象にごみの減量とリサイクルに特化したゲームやぬり絵、工作などを「エコ部！」が主体となって実施	
2) リ ユ ー ス ・ リ サ イ ク ル	リユース・リサイクル	市 民	◆リサイクル製品の購入や中古品の活用など、再利用を心掛けます。 ◆使用済廃食用油・古繊維・不用となった小型家電の拠点回収の利用を心掛けます。	【令和元年度の新たな取組実績】 ◆広報たきかわ令和2年2月号で、ごみの特集を掲載し、ごみ減量、リユースのPR 【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆平成28、29年度で市民の方から回収した中学校の制服を必要としている希望者へ譲渡した（余剰となった制服は、該当中学校に寄贈し、生徒の着替え等に活用）	
事業者		◆リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。 ◆古紙のリサイクルを推進します。 ◆カレンダーリサイクル事業に協力し、余剰カレンダーを提供します。	◆以下の場所で回収を実施 古着・古繊維（市役所・旧粗大センター・江部乙支所） 小型家電（市役所・まちづくりセンター・江部乙支所） 使用済廃食用油（市役所・まちづくりセンター、江部乙支所、コミュニティセンター、市内ガソリンスタンド、食堂など）		
市		◆リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。	◆カレンダーリサイクルを市役所大会議室で開催後、会場を図書館に移動し実施 令和元年度 譲渡数 カレンダー 2,077点 手帳 105点		

目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
			◆使用済廃食用油の回収・古繊維・不用となった小型家電の回収を進めます。	平成30年度 譲渡数 カレンダー 1,709点 手帳 109点	
			◆カレンダーリサイクル事業を行います。	◆カレンダーリサイクルを市役所大会議室で実施 平成29年度 譲渡数 カレンダー 1,570点 手帳 70点 平成28年度 譲渡数 カレンダー 1,413点 手帳 144点	
				◆市内中学校の制服を対象とした制服リサイクルの実施に向けて、市民から制服の回収を実施	
	フリーマーケット・リサイクルショップなど	市 民	◆フリーマーケット、リサイクルショップなどを活用します。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆滝川市リサイクルフェア（フリーマーケット）の実施 ◆ホームページ上で市内のフリマ情報並びにリサイクルショップ情報の配信を行った ◆広報で毎月不用品データバンク事業を行った	
		事業者	◆フリーマーケットに参加・協力します。		
		市	◆フリーマーケット情報交流事業などの強化など、リユース品の利用促進についての啓発を図ります。 ◆不用品データバンク事業を行います。 ◆リサイクルフェアを開催します。		

ウ 環境美化活動の推進

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 環境の美化	不法投棄対応	市	◆不法投棄防止の啓発活動や監視体制の強化を図ります。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆不法投棄監視員による市内巡回を実施（毎週月曜日～金曜日） 令和元年度 6,540kg 平成30年度 7,690kg 平成29年度 8,720kg 平成28年度 7,020kg	【評価】 ◆市民のリサイクルに対する意識向上を目的に、街路樹の落ち葉用回収袋をくらし支援課で配布しており、落ち葉とごみを分別していることは、リサイクルだけでなく、ごみの減量化にもつながっている。 ◆「たきかわクリーンデー」については町内会や学校、事業者の取り組みとして定着しており、環境美化の取り組みとして高く評価する。 ◆防止啓発や監視体制の強化により、不法投棄されたごみの減少傾向が続いていることを評価する。 【課題】 ◆引き続き、警察や町内会など関係機関団体等と連携し、不法投棄防止の啓発や監視体制の強化、たきかわクリーンデーを実施していただきたい。
	ボランティア活動の推進	市 民 事業者	◆たきかわクリーンデー（全市一斉清掃）に参加します。 ◆ボランティア袋を活用し、環境の美化に努めます。		
		市	◆たきかわクリーンデー（全市一斉清掃）の期間を設定し、ボランティアの参加について呼びかけます。 ◆ボランティア袋を配布し、ボランティア活動を支援します。	◆リサイクル推進員による巡回パトロール、不法投棄の通報等を実施 ◆市民や事業者が、町内清掃・ごみ拾い等を随時実施 ◆たきかわクリーンデー（全市一斉清掃）の期間を設定し、ボランティアの参加について呼び掛けた 実施主体：町内会・事業所・団体・学校等 令和元年度 213団体 8,810名 平成30年度 238団体 9,899名 平成29年度 255団体 10,284名 平成28年度 244団体 10,562名 ◆クリーンデー取組期間のほか、必要に応じ、町内清掃・ごみ拾い等を実施する個人・団体等にボランティア袋を配布	

地 球 環 境

目標2：エネルギーを大切にし、環境への負荷の少ないまち

令和7年3月末 達成目標(改訂前)

滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量 4,250 k g

省エネモニターのCO2排出量 前年度比の1.0%減

※令和元年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 地球温暖化対策の推進

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 計画的な地球温暖化対策の推進	地球温暖化対策の実施	市 民 事業者	◆地球温暖化対策に関する情報提供・対策の知識と理解を深めます。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆滝川市立開西中学校での地球温暖化防止講演会&ワークショップを実施 ◆滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施 ◆「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別イベントの実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施 ◆市内外の小学生を対象に、滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センターと連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施 ◆二酸化炭素排出抑制対策補助金を活用した地球温暖化防止事業の実施 ◆ホームページを活用した情報発信を実施 ◆「クールビズ」、「ウォームビズ」の推進 ◆「ライトダウンキャンペーン」を実施	【評価】 ◆空知自動車学校と連携し卒業講習及び高齢者講習で、燃費の向上を目的とした「エコドライブ」について講義し、地球温暖化防止に向けた行動の意識を高める取り組みは、「急加速」や「急減速」といった運転を行わないことが、安全運転にもつながることから、高く評価するとともに今後も継続を期待する。 ◆町内会等が維持管理する街路灯について、水銀灯やナトリウム灯からのLED灯への切り替えに際し、LED化推進補助金制度を設け、切り替え推進を継続していることを評価する。 ◆二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し、幼児から大人まで、幅広い年齢層を対象に地球温暖化の現状やその防止策についての普及促進を行ったことを評価する。 ◆高校生・短大生が「先生」となって、子ども達へ環境教育を行い、市民間における異世代交流を促進したこと、「教える」活動を通じて、学生自身も自らの生活を振り返り、環境保全について考える機会を提供したことを評価する。 【課題】 ◆街路灯のLED化が進み省エネルギーにより、地球温暖化対策として好ましい状況となっているが、LEDにも寿命があることから、水銀灯やナトリウム灯からの切り替えに対する補助だけでなく、LED化が継続可能となる取組を検討していただきたい。 ◆二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金が終了後も、継続して地球温暖化対策に取り組めるよう、関係団体との調整等に取り組むことが必要。
		市 民 事業者	◆省エネルギーに関する知識と理解を深めます。 ◆省エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	【令和元年度の新たな取組実績】 ◆空知自動車学校と連携したイベント「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」でのエコカー展示（水素燃料発電装置搭載）とエコドライブシュミレーターによるエコドライブ体験ブースの出展	

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
		市	◆省エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。 ◆省エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆ <u>滝川市立開西中学校での地球温暖化防止講演会&ワークショップを実施</u> ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別イベントの実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師である地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、 滝川市立東小学校 で環境授業の実施 ◆ホームページを活用した情報発信を実施 ◆滝川市立開西中学校で行った出前講座において、省エネに詳しい北海道地球温暖化防止活動推進員を招き、体験型ワークショップの実施	
	省エネルギーの実践	市 民	◆環境家計簿などを活用した省エネルギーの取組を実践します。 ◆照明をはじめ、家電製品などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆公共交通機関の利用に努めます。 ◆エコドライブの実践に努めます。 ◆LED照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆ <u>空知自動車学校と連携し、高齢者が免許更新時に受講を義務付けられている高齢者講習会で、エコドライブの講習会を実施</u> ◆空知自動車学校と連携し、卒業生を対象としたエコドライブ講習会の実施並びにエコドライブに特化したメールマガジンの配信 ◆「エコたき」ポスター・チラシにて節電や省エネについての啓発を実施 ◆環境家計簿（省エネモニター）を実施	
		事業者	◆照明をはじめ、電気設備などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆環境への負荷の少ない事業活動に努めます。 ◆エコドライブを行います。 ◆LED照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。 ◆省エネルギーや温暖化対策の推進に取り組む。 ◆環境省などによる省エネルギー診断などを利用した取組を検討します。	◆市内公民館の照明をLEDに切替促進 令和元年度 三世代交流センター北地区分館ほか 33基 <u>平成30年度 東滝川地区転作研修センターほか 39基</u> 平成29年度 緑地区コミュニティセンターほか 36基 平成28年度 扇町コミュニティセンターほか 15基 ◆補助金を町内会に支出し、町内会等が維持管理する街路灯をLEDに切替促進市内街路灯のLED化推進 令和元年度 新設37灯 切替438灯 計475灯 LED化率70.39% <u>平成30年度 新設30灯 切替454灯 計484灯 LED化率62.39%</u> 平成29年度 新設 6灯 切替452灯 計458灯 LED化率54.42% 平成28年度 新設35灯 切替665灯 計700灯 LED化率45.12% ◆「エコ部!」主催のイベント「エコたまつりin國學院短大」において、小学校2年生を対象に北海道電力の講師がゲームやクイズを行	

項目	取組	主体	取組（行動） 内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
			◆環境省が策定した事業者向けのＣＯ ₂ 排出削減対策への参加を検討します。	い省エネについて学ぶ省エネ講座を実施	
		市	◆環境家計簿を作成し、市民への普及に努めます。 ◆道路環境の整備や公共交通機関の確保に努めます。 ◆エコドライブに関する情報の提供に努めます。 ◆LED照明などの省エネルギー機器の導入や普及に努めます。 ◆町内会などが維持管理する街路灯のＬＥＤ切替促進に努めます。 ◆公共施設マネジメント計画に基づき、公共施設の長寿命化を図るための省エネルギー化を含む計画的な修繕に努めます。 ◆環境省が策定した事業者向けのCO ₂ 削減対策について、情報提供に努めます。		
3) 再生可能エネルギーの利用促進	情報収集・発信	市 民事業者	◆再生可能エネルギーに関する知識と理解を深めます。 ◆再生可能エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施 ◆ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載 ◆市内公共施設に設置した太陽光パネルの発電量をホームページに掲載	
		市	◆再生可能エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。 ◆再生可能エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。 ◆廃棄物処理施設における発電その他公共施設における再生可能エネルギー活用事例などの情報提供に努めます。		
	再生可能エネルギーの導入	市 民	◆再生可能エネルギーについての情報収集・学習に取組、再生可能エネルギーの導入を検討します。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載 ◆(株)IHI環境エンジニアリング・IKE、ラサ工業(株)と共同研究協定の締結を結び、利用度の低い籾殻を燃料として活用する燃焼試験を実施 ◆駅前広場の整備工事開始（小型風力と太陽光のハイブリッド街路灯や、太陽光発電設備を屋根に設置した駐輪場を設置 ※平成29年度より本格始動	
		事業者	◆再生可能エネルギーの導入を検討します。		
		市	◆再生可能エネルギーの導入を検討するとともに普及・啓発に努めます。 ◆バイオマスなど未利用の自然エネルギーなどの活用を検討します。 ◆駅前広場に、太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを導入します。		

その他の地球環境問題への対応

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) PM2.5・フロンガスなどの情報収集・提供	情報収集・提供	市	◆PM2.5やフロンガスなどの地球環境問題について、国や北海道からの情報収集に努めるとともに、ホームページやコミュニティFMなどで必要な情報を市民に周知します。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆滝川市ホームページに「PM2.5発生情報」を新設し、北海道や環境省が管理・発信している情報を市民へ提供	【評価】 ◆継続的な情報提供を評価する

自然環境・農業

目標3：身近な自然と触れ合うことでその大切さや素晴らしさを実感できるまち

令和7年3月末 達成目標(改訂前)

エコネット登録団体の自然保護活動参加人数 計画期間累計 8,700人

農業体験授業（事業）の実施校数 計画期間累計 150校

※令和元年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 身近な自然環境の保全と活用

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 豊かな自然資源の情報発信	丸加高原や菜の花畑などの豊かな自然環境のPR	市民事業者市	◆滝川市の豊かな自然について、SNSや広報・ホームページ・イベントなどを通じて、全国に向けてPRをします。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆広報、ホームページ、Facebook等を活用した、イベントやキャンプ場情報周知 ◆丸加高原で採取した木の実や枝を活用した工作体験の実施 ◆地域おこし協力隊による自然体験イベントや子どもキャンプの実施	【評価】 ◆関係機関団体と連携し、菜の花畑など豊かな自然環境を広報等でPRに努めていることを評価する。 【課題】 ◆引き続き、関係機関団体と連携し、広報、ホームページ、Facebook等を活用したPRを継続的に行うことを期待する。
2) 豊かな自然資源の活用と保全	街路樹・公園の適正な維持管理	市民事業者	◆街路樹・公園の樹木などを維持するためのボランティア活動に参加し、自然環境への関心を深めます。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆公園改修の実施	
		市	◆公園の適切な維持修繕に努め、利用者の安全確保に努めます。 ◆街路樹の適正管理に努めます。	◆公園の草刈等維持管理の実施 ◆街路樹の剪定業務の実施	
	良好な水辺環境の保全	市民事業者	◆川づくり活動に参加し、自然環境への関心を高めます。 ◆石狩川クリーンアップ作戦の参加など、河川の環境維持に協力します。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆石狩川クリーンアップ作戦への参加 ◆ボランティアによる石狩川再生の森（石狩川周辺の草刈り、森林の管理など）の実施	
		市	◆河川への不法投棄の監視など河川の環境保全に努めます。		
	自然体験など学習の提供	市民	◆自然体験や自然観察会などの取組に参加し自然環境への関心を高めます。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆エコネット登録団体による自然体験や自然観察会の開催時に職員がサポートを行った	
		市	◆自然体験や自然観察会などの開催及び情報提供などに努めます。 ◆自然体験や観察会実施などの事前周知をホームページ上で行った		

イ 豊かな農業環境の保全と活用

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 環境にやさしい農業や地産地消などの推進	減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の普及・啓発	市 民	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の理解を深めます。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆生産者のほ場等での田植え・稲刈り等の農業体験を通じ、環境保全型農業の取組への理解を深めた ◆減化学合成農薬・減化学肥料による農産物（米・野菜）の生産を行った ◆減化学合成農薬・減化学肥料などによる環境保全型農業による生産を行った生産者に対し交付金による支援を行った	【評価】 ◆環境保全型農業や地産地消について関係機関と連携し、推進していることを評価する。 【課題】 ◆引き続き、関係各課、機関団体等と連携し、目標達成に向けた取組を継続的に行ってもらうことを期待する。
		事業者	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業に取組ます。 ◆用排水路など地域の共同管理している箇所の環境の維持に努めます。		
		市	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の情報提供や支援に努めます。		
	地産地消の推進	市 民	◆地元農畜産物の積極的な購入や中食・外食においては地産地消認定店の活用や地元農畜産物を活用したメニューを選ぶなど地産地消を推進します。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆そらちワイン×ワインFestaで滝川の食の魅力を発信 ◆たきかわ地産地消認定店ガイドブック及び滝川地産地消協議会フェイスブックによる地産地消メニュー情報の発信 ◆たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデンの開催（地産地消認定店の出店） ◆年6回市内小学校で市内生産者による農作物の授業及び交流給食 ◆ちよつ蔵まつり、道の駅たきかわ大収穫祭、たきかわ農業まつりにおける新米PR活動の実施 ◆広報たきかわにおける地産地消特集の掲載	
		事業者	◆地元農畜産物を活用したメニュー提供やレシピのPRなどを行い、普及に努めます。		
		市	◆地産地消の給食の実施に努めます。 ◆地元農畜産物のPRに努めます。		
	食育の推進	市 民	◆日常生活の中で健全な食生活の維持に努め、食を通じて自然の恩恵に対する理解を深めます。	【令和元年度の新たな取組実績】 ◆第3次食育推進行動計画の策定 【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆11月24日の「いい日本食の日」にちなみ、町内会の班回覧を通じて和食の普及啓発を実施 ◆「滝川おもしろ食育塾」での稲作体験と調理実習 ◆生活習慣病予防料理教室 ◆料理づくりのつどい ◆滝川市食育推進市民会議の開催 ◆滝川市食育推進市民会議専門部会の開催 ◆第3次食育推進行動計画策定に向けた策定ワーキングの開催	
		事業者	◆食育に必要な地元農畜産物や場の提供に努めます。		
		市	◆食育を実践するため、行政機関や関係団体、事業者などと連携調整に努めます。		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
2) 農 業 とのふ れあいの場 の提供・確保	農業体験の 普及啓発	市 民	◆農業体験などの事業に参加します。 ◆市民農園などを活用します。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆「そらちDEいいね」を介した農業体験受け入れ事業の実施 ◆JA青年部やとんぼの会が実施する農業体験学習等に参加した ◆市民農園などを活用した、家庭菜園づくりにより農業に親しんだ ◆滝川緑の少年団員を募集し、緑の募金活動、不法投棄の清掃、植樹、川下り、稲刈り、脱穀などの農業体験を行った ◆広報やホームページで市民農園に関する情報提供を行い、市民の利用を促進した ◆JAたきかわや行政が協力し、市民農園の運営を行った	
		事業者	◆農地見学などを受け入れることができる体制の整備を行います。 ◆農業体験学習の講師として行政などに協力します。 ◆体験農園などの企画・運営を行政などと協力して行います。		
		市	◆農業体験学習を実施します。 ◆市民農園などの情報提供を行い、市民の利用を促進します。		

環境コミュニティ

目標4：みんなが学び、共有することによる環境保全の環（わ）が広がるまち

令和7年3月末 達成目標(改訂前)
環境学習リーダーの人数 第1次計画からの累計 350人
環境市民大会における参加者の平均評価点 85点以上
※令和元年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 環境に関する情報の発信と共有

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 情報の提供と共有	地域における環境活動の取組状況などの情報収集や情報提供	市民	◆たきかわエコネットに登録した団体などの取組状況への関心を深めます。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆「エコ部！」の指導をエコネット登録団体に依頼し、連携強化を図った ◆ホームページ「たきかわエコネットコーナー」に登録団体主催のイベント情報を掲載した ◆事業者向けの情報もホームページ上に掲載し周知を行った ◆年次報告書を作成・ホームページ上で公表した	【評価】 ◆年次報告書の発行、継続的なエコネット登録団体の支援等、他市では行っていない独自の取組を行ったことを評価する。 【課題】 ◆引き続き、エコネット登録団体との連携強化、ホームページや広報等を活用した登録団体のPR等を行い、各団体との結びつき強化を期待する。
		事業者	◆環境に関する事業の実施・情報提供を行います。		
		市	◆環境基本計画に基づき実施された状況を明らかにするために年次報告書を作成し、公表します。 ◆各環境団体にたきかわエコネットへの登録を促し、それらの環境活動の情報を発信し共有することで、活動への参加を促進します。 ◆たきかわエコネットに登録した団体などを支援し、それらの結びつきを強め、活動の活性化につなげます。		

イ 環境教育の充実

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 環境学習・環境保全活動の促進	環境学習・環境保全活動に関するイベントの実施	市民	◆環境学習・環境保全活動に関するイベントに参加します。 ◆環境に配慮した行動を実践できるよう、学習し、理解を深めるとともに学んだことから自発的な興味・関心を広げます。	【令和元年度の新たな取組実績】 ◆空知自動車学校と連携したイベント「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」でのエコカー展示（水素燃料発電装置搭載）とエコドライブシュミレーターによるエコドライブ体験ブースの出展 ◆「環境シンポジウムin開西中学校」を実施 【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施 ◆空知自動車学校と連携し、高齢者が免許更新時に受講を義務付けられている高齢者講習会で、エコドライブの講習会を実施 ◆「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした	【評価】 ◆空知自動車学校と連携し、若年ドライバーが中心の卒業講習と高齢者講習において、エコドライブを通した環境教育の実践など、独自の取組を行ったことを評価する。 ◆多くの市民が集まる「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」において、水素燃料発電装置搭載のエコカー展示とエコドライブシュミレーターによるエコドライブ体験ブースの出展により、エコカーとエコドライブへの関心を高めたことは、環境教育の新たな取り組みとして評価する。 ◆高校生や短大生が環境教育の企画・立案から実施までのノウハウを学び、子ども達に「教える」という活動をとおして、生徒自ら環境について考え、生活を見つめ直す機会、そして異世代交流の機会を提供したことを評価する。 【課題】 ◆関係機関との調整・打ち合わせを行い、環境教育やエコドライブの普及促進活動が、行政主体から短大・高校・企業主体
		事業者	◆事業所を環境学習の見学の場として提供するなど環境学習の取組の支援・協力を行います。		
		市	◆環境市民大会を開催し、環境に関する情報提供に努めます。 ◆環境学習・環境保全活動に関するイベントの開催に当たっては、市内の実践者などの人材に協力を求めます。		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
				◆空知自動車学校と連携し、卒業生を対象としたエコドライブ講習会の実施並びにエコドライブに特化したメールマガジンの配信 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施 ◆「エコ部！」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施 ◆滝川高校と連携し、環境市民大会「環境シンポジウムin滝川高校」を実施 ◆市内外の小学生を対象に、北海道滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センターと連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施 ◆教育委員会と連携し、市内全小学生を対象に夏休みと冬休みに「エコたき」日記を配布、休み明けには児童が塗った「エコたきくん」ぬり絵を図書館に展示するとともに併せてウォームビズの啓発展示を実施 ◆滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部！」の指導をエコネット登録団体、空知教育センター、地域おこし協力隊等に依頼し、連携強化に努めた。 ◆エコ部！と國學院大學北海道短期大学部が協働で、未就学児並びに小学生を対象に、リサイクルやエネルギー等に特化した環境学習イベントを主催し、市民が参加した。 ◆マリアージュ イン ベルコにおいて環境市民大会を開催 ◆滝川高校生徒への地球温暖化ワークショップの実施	へとスムーズに移行できるように準備していく必要がある。
	次世代エネルギーパークの活用	市 民	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習に参加します。	【平成28年度からの取組実績】 ◆北広島市市民団体（エコ・パートナーシップ北広島）の視察対応を行った ◆富良野市市民団体の視察対応を行った	
		事業者	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習への協力を行います。		
		市	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習を行います。		
	環境学習リーダーの育成	市 民	◆環境学習リーダー養成講座を受講し、環境についての知識を習得します。	【平成28年度からの取組実績（単年度の取組を含む）】 ◆<u>滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施</u> ◆<u>「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を</u>	
		事業者	◆環境学習リーダー養成のため事業者が保有している環境情報や実践している環境保全活動について、情報提供を行い、身近な環境学習の創出に協力します。		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
		市	◆環境学習リーダー養成講座を継続し、リーダーの育成を推進します。 ◆高校生ボランティアチーム「エコ部！」の活動の検証を行い、次世代リーダーの養成につなげます。	<u>促す一助とした</u> ◆「エコ部！」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」、「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、 滝川市立東小学校 で環境授業の実施 ◆小学生を対象に、滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センターと連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施 ◆市内3つの高校から、環境学習リーダー養成講座に参加にする有志を募り勉強会やイベント等をとおしたリーダーの育成を実施 ◆市立図書館主催の夏休み「調べる学習コンテスト」に参加し、「エコ部！」が夏休みに実施した特別イベントをとおして、子ども達が「地球温暖化」について、調べ・まとめる機会を提供 ◆児童センターで地球温暖化防止に特化した環境授業を実施 ◆國學院大學北海道短期大学部舩井ゼミ、まちつく6、「エコ部！」が協働で実施した食育イベントにおいて、市内稲作農家にご協力いただき、環境保全活動や稲作栽培についてのワークショップに参加した後、道の駅で「米」をテーマにしたイベントを実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生並びにスプリングフィールド大学短期留学生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団の講師による地球温暖化防止の専門講座を受講した後、西地区児童センター、東地区児童センターで環境教室を実施	